

## 第34回レセプト情報等の提供に関する有識者会議

### 第2回NDBオープンデータに対する個別要望一覧

平成28年12月7日	資料1-2
第34回レセプト情報等の提供に関する有識者会議	

要望#	集計対象	要望内容	課題	対応方針案
1	全体	・国際比較のできるデータ形式での公表	比較対象の選定が必要	適切な比較対象について検討継続
2	全体	・英語版作成	—	対応可能な範囲から着手
3	全体	・各レセプトにおける都道府県別かつ性別・年齢階級別のクロス集計情報	作業負荷が非常に大きくなる可能性	作業負荷が高いため今後の対応につき検討を継続
4	特定健診	・特定健診における検査項目の検査実施率を算出 ・各都道府県の検査対象者数を100とした分布(構成比)を示してグラフ比較	—	算出に必要な数値はすでに公表済み
5	特定健診	・各種健診結果における検査値が基準範囲外の受診者の割合に関する市町村別の集計	対象者の定義づけが必要 作業負荷が非常に大きくなる可能性	作業負荷が高いため今後の対応につき検討を継続
6	特定健診	・特定健診質問票における主要な項目(喫煙習慣等)の都道府県別および市町村別の集計	市町村別集計については作業負荷が非常に大きくなる可能性	作業負荷を確認の上、対応を検討
7	特定健診	・各種健診結果における検査値が基準範囲外の受診者の割合の都道府県別集計における、保険者種別での集計	対象者の定義づけが必要 作業負荷が非常に大きくなる可能性	作業負荷が高いため今後の対応につき検討を継続
8	特定健診	・都道府県別の特定健診を受診した人数(総数)	—	公表済み

要望 #	集計対象	要望内容	課題	対応方針案
9	特定健診	・食塩摂取量6g以上の患者数の都道府県別集計	NDBには含まれない情報	—
10	医科診療行為	・検査、処置、手術の性別・年齢区別した1ヶ月あたり算定回数(総数)	作業負荷が非常に大きくなる可能性	作業負荷が高いため今後の対応につき検討を継続
11	医科診療行為	・検査、処置、手術の性別・年齢区別した1レセプトあたりの算定回数(平均値)	作業負荷が非常に大きくなる可能性	作業負荷が高いため今後の対応につき検討を継続
12	医科診療行為	・検査、処置、手術の1レセプトあたり月あたりの年齢区別平均実施回数	作業負荷が非常に大きくなる可能性	作業負荷が高いため今後の対応につき検討を継続
13	医科診療行為	・二次医療圏毎の受診患者数の集計	作業負荷が非常に大きくなる可能性	作業負荷が高いため今後の対応につき検討を継続
14	医科診療行為・薬剤	・レセプト上の各診療行為別・各薬剤別等の一人あたり(一患者あたり)の算定回数	作業負荷が非常に大きくなる可能性	作業負荷が高いため今後の対応につき検討を継続
15	医科診療行為・薬剤	・入院でなおかつDPCの包括評価に含まれる検査件数のデータの提供	NDBでは正確な算出が困難	—
16	医科診療行為・薬剤	・重篤副作用疾患別マニュアルに含まれる重篤な副作用毎に薬剤の処方数を集計し、薬剤投与群と非投与群のオッズ比(信頼区間を含む)の検証によりリスクを検証。	作業負荷が非常に大きくなる可能性	作業負荷が高いため今後の対応につき検討を継続
17	医科診療行為・薬剤	・血液透析患者数, 薬効小分類毎の血液透析実施患者数並びに新規血液透析開始患者数	作業負荷が非常に大きくなる可能性	作業負荷が高いため今後の対応につき検討を継続
18	医科診療行為・薬剤	・腎機能障害時に注意が必要とされる医薬品の使用患者における腎機能検査の実施頻度を集計	作業負荷が非常に大きくなる可能性	作業負荷が高いため今後の対応につき検討を継続

要望#	集計対象	要望内容	課題	対応方針案
19	医科診療行為・薬剤	・薬効小分類毎、並びに薬剤を問わず、受診医療機関の集計(同じ患者が、1年間に同じ薬剤分類の医薬品を処方されている医療機関数並びに種類(病院, 診療所)間の移動状況を集計)	作業負荷が非常に大きくなる可能性	作業負荷が高いため今後の対応につき検討を継続
20	薬剤	・抗菌薬の一般名での集計	作業負荷が非常に大きくなる可能性	作業負荷が高いため今後の対応につき検討を継続
21	薬剤	・個別(今回の公表された上位には入っていない自社の)薬品の都道府県の処方実数	個別の目的への対応は困難	—
22	薬剤	・使用の総量は記載されているが、都道府県別、性年齢別の数量が記載されていない薬剤について、公開されていない部分の公表	公表基準の最小集計単位未滿	最小集計単位の原則に抵触するため対応不可
23	薬剤	・後発品を販売する際の初動在庫数量の把握	NDBには含まれない情報	—
24	薬剤	・類似薬の処方実態の把握	作業負荷が非常に大きくなる可能性	作業負荷が高いため今後の対応につき検討を継続
25	薬剤	・内服 外来(院内)、内服 外来(院外)、内服 入院、外用、注射薬について薬効分類別に総処方数上位30位薬剤毎の処方日数の算出(1日から365日)	作業負荷が非常に大きくなる可能性	作業負荷が高いため今後の対応につき検討を継続
26	薬剤	・1日投与量 総数: 平均値/最大/最小 性別・年齢区分: 平均値/最大/最小	作業負荷が非常に大きくなる可能性	作業負荷が高いため今後の対応につき検討を継続
27	薬剤	・1処方あたりの投薬日数 総数: 平均値/最大/最小 性別・年齢区分: 平均値/最大/最小	作業負荷が非常に大きくなる可能性	作業負荷が高いため今後の対応につき検討を継続
28	薬剤	・1レセプトあたりの処方回数 総数: 平均値/最大/最小 性別・年齢区分: 平均値/最大/最小	作業負荷が非常に大きくなる可能性	作業負荷が高いため今後の対応につき検討を継続

要望 #	集計対象	要望内容	課題	対応方針案
29	薬剤	・薬剤の薬効小分類(日本標準商品分類番号の薬効分類である薬価基準収載医薬品コードの先頭3桁)毎の年間患者数並びに新規患者数の集計	作業負荷が非常に大きくなる可能性	作業負荷が高いため今後の対応につき検討を継続
30	薬剤	・要望29の集計の薬効小分類(日本標準商品分類番号の薬効分類である薬価基準収載医薬品コードの先頭3桁)毎の併用(同時処方)薬剤数(処方・調剤薬剤数)毎の患者数	作業負荷が非常に大きくなる可能性	作業負荷が高いため今後の対応につき検討を継続
31	薬剤	・要望29の集計の薬効小分類毎の後発医薬品の使用割合(患者数)	作業負荷が非常に大きくなる可能性	作業負荷が高いため今後の対応につき検討を継続

(注)平成28年12月7日 有識者会議での検討された御意見に基づき一部文言を修正。